



# ぴっぴだより

No.5. 2025. 7. 23

私事をぴっぴだよりに掲載させて頂くのは大変恐縮ではございますが、この場をお借りして記させていただきます。昨年2024年7月7日に入籍いたしまして、昨年の学期末にはみなさまからお祝いを頂き本当にありがとうございました。お祝いのお手紙の末尾に掲載されていた婚姻生活継続の思いを、誠に恥ずかしいのですが勝手ながら提出させていただきます。提出期限を過ぎてしまいすみませんでした。僭越ではございますが、この思いを受け取って頂けたら幸いです。

継続への思い

名前 菅 このみ

まずは皆様、2024年7月のぴっぴだより特別号にてたくさんの温かいお祝いの言葉をくださり本当にありがとうございます！

陶芸の旅や街中でお会いした際などに直接伝えてくださる方や、ホームパーティに招待してくださった方もいらして、感謝の気持ちでいっぱいです。

ゆうすけとは2024年の七夕に入籍し、ようやく一年が経ちます。変化の大きい一年だったなあと振り返ってしみじみ思います。

昨年末に私が体調を崩し、新卒から働いていた会社をお休みすることになり、ゆうすけと一緒に過ごす時間がグッと増えました。一緒に食事をする機会も多くなり嬉しい反面、お互いのための適度な距離感を保つ方法や、モヤモヤの伝え方など色々な課題も見えてきました

(笑)人と真っ直ぐ向き合うことから逃げてきた私は話し合いをすること自体が大きな課題で、いつもうまく伝えられないことで余計にモヤモヤして解決方法がわからなくなる、、、なんてことを繰り返しています。そんな中で、ゆうすけはどんな時もそばで支えてくれますし、私の身方であるということをちゃんと言葉にしてくれていたのも、この先何があってもずっとそばにいてくれるのだと絶対的な安心感を覚え、臆せずに真っ直ぐドーンとぶつかって行くぞ！！と今は思っています。そして、まゆさん初めぴっぴスタッフの皆様と保護者の皆様からいただいた優しさのおかげで、今まで気づけなかった自分の豊かな感情にも気づき、なんて幸せなんだろうと思っています。

先月に退職したため今はゆったりとお休みする時間をもらっているのですが、仕事の継続を迷っている際にゆうすけから「どんな選択をしたとしても全力で応援するからね」と言ってもらった言葉を忘れず、これからの人生、お互いを助け合い、楽しく生きていきたいと思えます！

最後に、たくさんの素敵な出会いをくれたゆうすけにSpecial Thanks！

言葉に想いを乗せることが苦手な自分には、今現在の想いを整理しながら文章に残すこのような機会を与えてくださり感謝いたします。普段は妻に伝えられていない言葉を紡がせていただけだと思います。一人暮らしの長かった自分にとっての『家』の存在は、仕事や遊びでの外出先の疲れを癒す場。ほとんどが眠る為の場でした。5年前のコロナ禍に知り合いのいない長野に移住し、暮らし始めた当初は思うように外出も帰省も出来ずに、一人で過ごす家での時間を孤独に感じていました。たまに地元の友達が遊びに来て、その時間が楽しければ楽しいほど、皆が帰った後の部屋の静けさが寂しさを増長させてくるのです。特に冬の寒さは身も心も一層厳しく感じていたように思います。

このみさんとの生活が始まり、家庭に人の存在があることで、冬が寒くなくなったと言ったら過言ですが、一緒に食卓を囲みながら「この料理は上手くいった」とか、「これは失敗した」とか、料理を食べて共感したり、くだらないことで笑い合ったり、電球は変えていないのに家庭が明るくなったように感じています。会話をしながらだと食が進み、一時期は食べる量が増えてしまったので今は食事量を抑えようと意識はしています。意識だけで行動が伴っていないのが難点です。話はズレましたが元に戻して、本当に幸せな時間を過ごしています。一緒に暮らし始めてすぐの頃、まゆさんが「家庭のルールを作るのでは無く、得意なことを得意な方がやる。」という夫婦円満の秘訣を教えてください、今のところ我が家は分担制では無く、掃除洗濯料理など出来る方がやるようになっていて、家事でのストレスは無く（一方的な私の見解です）、ケンカの要因と言えば、第一位は夕飯時にお酒が入った自分の余計な一言です。

一緒に暮らし始めて2年半が過ぎ、最近はこの日常が当たり前になり過ぎていて、相手のことを尊重できなくなったり、自分本位になったり、思いやりの気持ちが薄れてきたと、この文章を書きながら反省しています。狭い家で、どこにいても互いの存在を認識するので、逆にそれを負担に感じてしまうことがあり、一人の時間も好きな自分は理由もなくイライラしてしまっています。妻は朗らかな性格なのでそんな時は「一人で飲みに行っておいで」と私を送り出してくれるのです。気分転換に隣の家の話好きのマスターの店で顔馴染みのお客さん達とたわいもない馬鹿話で盛り上がり、酔っ払いのおじさんに自分の妻への接し方を説教されたり、保護者の方にも二人で遊びにおいでと誘って頂いたり、それが気分転換になっています。ぴっぴの皆様からも「最近調子どう？」とさりげなく声を掛けてくださったり、夫婦の秘訣を伝授して下さったり、私たち二人では息が詰まってしまうような時も、周囲の方々の支えのおかげでズレてしまった気持ちが、また同じ方向へ向き直すきっかけを与えて頂いています。

元来気分屋で感情を隠すのが苦手な性格の自分ですので、一緒に暮らしていて妻には自分の想像以上に気苦労をかけている事と思います。妻の不調の原因は自分にもあるのでしょうか。半分冗談です。本来は不調の妻を精神的に自分が支えねばならないところなのですが、肩肘貼らずに接していただけるのは、日頃から明るく振る舞ってくれている妻のおかげで、自分の方が精神的に支えられています。理想の夫婦像のモデルがぴっぴには大勢いらっしゃるの、皆様のような明るく楽しい家庭をこれから少しずつ築いていけたらと思っています。

今の自分があるのは妻がいてこそなので、結婚生活の継続を希望します。

※提出期限 2025年7月7日

# 庭の恵みを食べよう遊ぼう楽しむ! 8月

庭を立体的に演出したり、フェンスや壁面を覆ったりする植物として「つる植物」があります。「つる植物」は早く! 高く伸びるための工夫をし、日の光の当たる所まで至り導することに力を注いでいます。自立することができないため、つるで巻きついたり、吸盤のような巻きひげで絡んだり、棘でひっかいたり。這、てのびたりとさまざまな手段を使って伸びていきます。今月は野生ですが、庭にあって美しい夏に花を咲かせる「つる植物」をご紹介します♪



## \*クズ (マメ科) 花期 7~9月

なんと花はフアンタグレーフの香りがします♪

「葛」は「かずら」とも読み、つるの代表としてこの字があてられたのでしょうか。秋の七草の一つで、葛きりや葛もちなどの原料になったり、葛根湯の

原料になるのは葛の根。根には巨大でも握りたすも精製にも手間がかかるので、今や貴重なものとなっています。

葉や茎からは葛布という織物がつくられたりもしました。つる(はかば)につくられたりもしました。

夏には日|m!も茎がのびる茎の先端からは水が滴るほど!ものすごい生命力ですね!

## \*ヘフソカズラ (アカネ科) 花期 8~9月

漢字でかくと、屁糞葛。なんとかわいいような名前でしょう...。茎葉や果実に悪臭があるので(それほどでもないですが)そんな名前にも... (涙)でも夏に咲く花は、愛らしく早い女花の別名も、秋の果実もリースにしたりすると素敵です。実は手荒れにも効果あり♪汁もかけず。



## \*ガガイモ (キョウチクトウ科) 花期 8~9月



ふわふわピンクのかわいい花はあまーい香り♪虫たちに大人気!でもその蜜に惑わされ花の蜜にはさまれて命をおとす虫も多いとか...

種は絵本にも登場するほど面白い形と大きな綿毛で、私はコレクションしています♪

## \*ボタンヅル (キンポウゲ科) 花期 8~9月



葉が牡丹(ボタン)に似ていることからついた名。山野の日当りのよい木柵、草原で他の木にからんで育つ。キンポウゲ科はトリカブトに代表されるように毒性のあるものが多くボタンヅルも有毒です。でも美しい涼やかな

園芸品種クレマチスの仲間です。2025 © F可部菜々

# たはただよ



先日、くり、おおくりのみんなが草取りをしました。  
田植えのときからだいぶ育っている稲に、「大きくなつたねー！」  
と気づく子どもたち。みんなも少しずつ大きくなってるなあ  
感じながら、稲と稲のあいだに生えている草を抜き  
ました。抜くのがむずかしくても、歩いているだけでも  
草には少しダメージがあって、草おさえになります。

毎年のことですが、こちらが植えたわけではないのに  
勢いよく生えて、生きる気 満々の草たちに、元気を  
もらいながら、尊厳もしながら、「でも稲の成長を応援  
させて」と抜く、ふむという時間を楽しみました。

田んぼは（田もかな、と思いますが）、人が来ると喜び、  
というのをよく聞きます。ひらひらの子もたち、大人たちで  
にぎわったあの時間が、田んぼにとってもよい時間だつた  
ら、ますます嬉しいです。水曜日午前の草取りタイムに来て  
くださった保護者のみなさま、ありがとうございました。

7月19日からの18日間は、夏土用といって、土に<sup>まじ</sup>触れるのは  
さけた方がよいとされる其期間（土用の間日と呼ばれる土に触れ  
ても大丈夫とされる日も何日かあります）。  
今季の田んぼの草取りは、ここまでで、あとは見守るばかり。  
閉られる時間の短さをいつも感じます。これもよく言われますが  
子育ても一糸者、と。閉られるときを大事にしたい。自分が  
言いたいことを言うのではなく、子どもをたくさん感じる土台をつくら  
せ、必要なときに必要な言葉がけや支えること、応援することができた  
らなあ... いろいろ感じさせてくれる田んぼの時間が大好き  
です。 はるこ